

たくようだより



たくよう

平成30年4月

No.75

春号

障害者支援施設
就労継続支援B型事業所

新葉学園

発行者 社会福祉法人 拓洋会

相談支援事業所

しんよう

薩摩川内市樋脇町塔之原 4020

外部サービス利用型
共同生活援助事業所

第1拓洋ホーム

TEL: 0996-37-2861 FAX: 0996-37-2981

<http://takuyoukai.w.kobira.co.jp/>



新年度に向けて



社会福祉法人 拓洋会
理事長 高橋 洋治

今年の冬の寒さは、本当に厳しいものでした。インフルエンザ、花粉症の発症など大変な時もありましたが、やっと春の訪れを身近に感じる今日この頃、新年度に向けた事業計画、年間行事等の作成が検討されたところです。拓洋会の理念である①感性豊かな心と「安らぎ」を感じられる支援を展開する。②利用者と地域に「愛され信頼される施設づくりをめざす」を掲げ、利用者の人権を尊重し、職員の率先垂範に努めて利用者の自立を支援しています。

少子化、過疎化の進む中、地域の方々と共存、共栄共助、「地域の中になくはない施設」として今後も愛される施設の運営に力を入れていきたいと思えます。



▲出演者全員集合!!

▲B型事業所チーム

▲世話人チーム

▲生活介護班女性チーム



世話人 小野 安志

私達グループホームの世話人チームは、家族会・クリスマス会の数日前まで「コスプレ大会」の出し物をどうするのか、まったく決まっていないうちにどんどん当日が近づいてきて焦っていました。

そこで、まずレクリエーション係である南雲世話人より、「小野さんが前で安来節のどじょうすくいを踊って、後ろの方で他の人が真似をして踊ったらどうか」という提案が出て、「それだけではクリスマス感が全く無いから、後ろで踊る人にドレスを着させて『デイス

にしよう」という事で全員の意見がまとまり、急いで準備にかかりました。

マリコ美容室様などの協力によって、なんとか当日に間に合いましたが、リハールは一切無しのまま「泣こよか、ひっとべ」の心境でぶっつけ本番に臨みましたが、その割には自画自賛ですが、結構、楽しい出来映えになったのではと、皆で協力して頑張った達成感がありました。

何よりも利用者さんやご家族の皆様喜んでいただけたのが一番嬉しい事でした。ありがとうございました。



▲華麗な音のハーモニイで会も大盛り上がり!



▲まるでホンモノ? ジミー田代も登場!!



▲優勝した生活介護班の寸劇

家族会・クリスマス会

12/16

利用者 外園 美智代さん

十二月十六日にクリスマス会がありました。カラオケのあとにバンドベルがあつて、私は二人で手品をしました。とつてもきんちゃんうしました。私はお花をだしました。ほんばんもじょうずにできた。とおもいます。

しょくいんのだしものはいろいろあつて、おもしろかったです。おべんとうはケーキもはいていておいしかったです。とてもたのしかったです。

利用者 吉留 悦子さん

昨年の十二月十六日にクリスマス会がありました。クリスマス会では利用者によるマジックショーと鹿兒島弁を使った演劇がありました。鹿兒島弁は分からない事ばかりだけど、水戸黄門だったのでおもしろくてわかりやすかったです。

次は職員によるコスプレ・ダンスがありました。最初は誰が踊っているのか分からなかったけど、見ているうちにおもしろくて大爆笑しました。

最後の抽選会で初めて賞品が当たりました。今まで当たったことがなかったので、少しうれしかったです。

演劇やコスプレ・ダンスを見て、楽しいクリスマス会になってよかったです。



▲お楽しみ抽選会



▲よ〜く見ててね(・_・)



▲パット大成功 (ハッハ)



▲豪華絢爛☆魚国弁当(・_・)



▲大勢の方がご参加下さいました m(・_・)m



▲今年は撮るソんちえみ♡



▲天気も良く、笑顔で完歩(^^)



▲堂々たる選手宣誓！

第29回 新葉ふれあい ウォーキング大会

支援員 兼子 剛

去る二月二十四日(土)に第二十九回新葉ふれあいウォーキング大会が行われました。今年もたくさんの方の申し込みを頂き、当日は参加者や関係者を含め四〇〇名を超える大人数となりました。

天候も快晴で少し汗ばむくらいの陽気ではありましたが、二・五kmのコースをそれぞれのペースで完歩され、ゴール付近では皆さんのとても良い表情を拝見する事が出来ました。ゴール後も魚国総本社の協力の下、美味しいうどんやご飯、またドリンクサービスに抽選会と大盛況で最後まで楽しい時間を過ごせて貰えたのではないかと思います。これも地域のご理解と多数の参加者や樋脇消防団の方々の協力があつての事なので、この場をお借りして御礼申し上げます。

今後、皆さまが楽しんで頂けるイベントとして職員一丸となつて取り組んで行きたいと思ひます。



利用者 平崎 広昭さん



▲地域の方々と一緒に楽しく歩きました!(^^)!



▲歩いた後のお楽しみ。
今年はおうどんとわかめご飯でした。

二月二十四日(土)に新葉ふれあいウォーキング大会が行われました。天気も晴れで、ウォーキング日和でした。みんな楽しく歩いていました。中には走る人もいました。ゴールまでお話をしている人もいました。着いたら、飲み物を取りました。そして、わかめご飯とうどんを食べました。全部美味しかったです。僕は抽選会を楽しみに待っていました。当りませんでした。今度は桜の花の咲く中歩きたいと思ひました。



▲今年もたくさんの参加者でした。

川内川河口マラソン ウォーキング大会

利用者 原 博美さん

三月十一日に川内川河口マラソン・ウォーキング大会があり、たくさんの方が参加して頂きました。四キロメートルと八キロメートルのウォーキングにわかれて、たくさんの方が参加していました。河口マラソンはたくさんの方が走っていました。花ふんしゅうの人にもいました。みんながんばってゴールをめざしました。



▲玉利支援員と笑顔でポーズ!!



▲河川敷の風が気持ちいい~(^^)



生活介護事業所 在園者外出

利用者

立野 康子さん

1/2



▲新年早々、おっきなエビフライが3つも(°o°)

一月二日に、学園に残った人たちと一緒にバスに乗って串木野・市来方面へ出掛けました。十時四十分に出発して、十一時三十分に着着をしたらそこでお昼ごはんになり、私はエビフライ定食を食べました。とてもおいしいでした。そして、照島神社まで行って、着いたらそこでおさいせんをだしてから、箱にいれて、手を合わせて私たちはおがみしました。温泉に行つて大浴場に入りました。最後にプラッセだいわの中で皆と一緒に買い物しました。楽しかったです。



▲小雨が降る中、お疲れ様でした。



▲地域の方々と楽しく会話をしながら・・・



▲花いっぱい沿道に癒されることでしょう♪

桶脇地区コミュニティ協議会より芝桜の植栽作業のボランティア依頼を受け、少しでも地域に協力出来ればと思い利用者・職員が参加しました。当日は小雨が降っているにも関わらず、小さなお子さんからご年配の方々が多く集まり、にぎやかな雰囲気の中楽しんで作業をされておりました。利用者にとってこのような機会は地域との交流の場となり、有意義な時間になったことでしょうか。

相談支援専門員 小川 淳

芝桜 植之付け

3/3

利用者

小澤 陽子さん



▲沢山のボランティアの方が参加してくださいました。

三月三日、ボランティア活動として、芝桜の植え付けをしました。小雨が降っていたので予定より早い時間から始めていて、かぎられたわずかな時間でしたが、地域の皆さんと交流を深めて楽しく出来てよかったです。

支援員

藏前 美樹

去る三月二十九日、拓洋会の花見が旧学園の園庭にて開催されました。天候にも恵まれ風で桜の花びらが舞つと歓声が上がります、良いお花見日和となりました。今回は理事、監事、評議員の方々も方も参加して下さいました。利用者の皆さんも普段一緒に食事をしないメンバーと食事をして余興のカラオケを楽しませていました。又、二年に一回の利用者さんの役員交代があり、新役員になったメンバー紹介も行われました。豪華なお弁当に笑顔が見られ「早く食べたい」「美味しいね」と話す利用者さんもうらっしゃいました。いつもと違う雰囲気味わい、季節を感じながら花見の時間を楽しませていました。

▼桜とデュエット♪♪♪

三月二十九日、きゅう学園の園庭で花見がありました。とても良い天気で桜の花がまんかいできれいでした。僕は三人で忍たま乱太郎の「百パーセント勇氣」を歌いました。黒いしよを着て、ネックレスを付けました。練習をしながらだったのでかしをまちがえただけ、三人で楽しく歌えました。お弁当もごうか美味しかったです。

▼満開の桜の下、始めました(ノoノ)

利用者

小松 直樹さん

拓洋会 花見

3/29



▲満開の桜に囲まれ食べるお弁当は格別でした(●^A^q)



パン工場だより

業務課長 下川明彦

新葉学園パン工場は、品質管理、商品開発、販売施策、知名度アップに著実な歩みをつけ、そして利用者支援、地域貢献、製造販売管理を両立させるべく、利用者・職員が一体となって頑張っています。平成二十九年年末から三十年新春にかけて、学校給食品質評価や保育園・小学校との交流等のトピックがありましたのでご紹介します。

その一、給食パン品質審査会にて高評価

平成二十九年十一月に鹿児島県学校給食会による学校給食パン品質審査会が開催され、平成三十年一月に結果発表となりました。これは基本配合のコツペパンを抜き打ちで検査（理化学・官能）し、現状の評価と今後の品質向上を促す目的で行われます。当施設は最高評価の「良（上）」を獲得し、評価点数では県内二十八事業所中五位にランクインしました。また、機関誌「学校給食かごしま」には良好な外観・内相のパンとして当施設のパンが写真掲載されました。今後とも品質管理活動に邁進しよつと決意を新たにしました。

その二、保育園にご褒美クッキーをお届け

日頃より昼食やおやつ用にパンを納入させていただいています保育園幼稚園に、平成二十九年十二月、クリスマス会・お遊戯会開催時に、ご褒美としてクッキー小袋を園児様にプレゼントしました。お届け先は、薩摩川内市の善福寺保育園、永照寺保育園、諏訪保育園、清水丘保育園、さとのもり保育園、あさひ保育園、樋脇幼稚園、さつま町の佐志保育園、山崎保育園、上宮保育園の十箇所でした。この取り組みは二年間継続していき、今後ともお取引先様への感謝と地域貢献の気持ちを表していこうと思っております。

その三、小学校の給食交流会に出席

例年一二月、小学校では給食交流月間となっております。今年一月に、さつま町立佐志小学校と薩摩川内市立樋脇小学校にて原田支援員が、さつま町立山崎小学校にて鶴崎支援員が給食交流会に出席しました。いずれも一年生教室での交流で、「どうしてパンは美味しいの？」等の素朴な質問や、支援員のパン生地を持ち込んでの丁寧な説明にてパンの作り方が理解できた様子など、微笑ましく賑やかな

光景が繰り広げられました。後日、児童様が書いて頂いた交流会出席のお礼状綴りも頂き、パン工場職員一同感謝するところでありました。

その四、小学校よりの激励寄書にお礼

この給食交流月間中にパン工場激励の寄書を作成して頂いた小学校がありました。寄書には、児童様のパン製造に対する感謝の言葉、パン給食に対する思い、お好みのパンランキング等が綴られ、職員一同、微笑ましくかつ嬉しく拝見し、今後とも安全安心・安定品質にて記憶に残る美味しいパンをお届けすべく、決意を新たにすることができました。寄書のお礼として、ご褒美のクッキー小袋を児童様にお届けしました。お届け先は、伊佐市立曾木小学校、山野小学校、大口小学校、さつま町立流水小学校、鶴田小学校の以上五校でした。

この給食交流月間中にパン工場激励の寄書を作成して頂いた小学校がありました。寄書には、児童様のパン製造に対する感謝の言葉、パン給食に対する思い、お好みのパンランキング等が綴られ、職員一同、微笑ましくかつ嬉しく拝見し、今後とも安全安心・安定品質にて記憶に残る美味しいパンをお届けすべく、決意を新たにすることができました。寄書のお礼として、ご褒美のクッキー小袋を児童様にお届けしました。お届け先は、伊佐市立曾木小学校、山野小学校、大口小学校、さつま町立流水小学校、鶴田小学校の以上五校でした。

木下大サーカス 公演観覧

生活介護支援員 玉利 直喜

三月十三日と十九日の両日に分かれ、木下大サーカス鹿児島公演の観覧へ出掛けました。鹿児島では七年ぶりの公演という事もあり、学園での観覧は十数年ぶりの為、皆さんサーカスを楽しみにされていた。会場に到着すると、大きなテントが張ってあるのを見て皆さん興奮され、いざサーカスがスタートと空中ブランコショーやスーパーストリュクション等色々な催し物に大変感動されていました。印象に残ったのは、ライトに照らされる球体の中を複数のオートライオン七頭による世界猛獣ショーの演技には迫力があり、楽しませてくれました。また、ショーが変わるたびに素早く小道具や場面転換をする人々の動きにも驚いた。息がぴったり合っ、素早く次のショーの準備をしていて裏方担当の役割の大切さも感じられる公演だった。サーカス後は、近くで昼食を済ませてから帰園し、とても充実した一日を過ごす事が出来たのではないかと感じた。



▲旬の料理に…満足○

利用者 福山 雄亮さん

三月十九日、鹿児島市のイオンの近くで、木下大サーカスがあり見に行きました。ホワイトタイガーが芸をしていたのがいんしよつてきてました。他にはバイクのショーがあった音にビックリしたけど、丸いカゴの中に入って何回も回り、すごかったです。ピエロもいて、お客さんをつかせていました。とてもおもしろくて大満足でした。

利用者 正岡 和成さん

三月十九日、利用者二十二名、支援員四名、計二十六名がイオンモール鹿児島特設会場にて木下大サーカスを見学しに行きました。ピエロのショーからはじまりました。まず第一部では、アクロバティックショーでイスを使ったショー等がありました。大きな輪の中を歩いたりしていました。第二部ではホワイトタイガーのショーや空中ブランコ、バイクのショーもあってすごく楽しい一日でした。また、機会があったら行きたいです。



▲山崎小学校へ給食交流会に参加して来ました♪



▲迫力満点の木下大サーカス!!

▲学校給食用パン品質審査会結果



▲ご褒美クッキーをプレゼント



▲たくさんの寄せ書きを頂きました(=^・^=)



項目\月	4	5	6	7	8	9
園内行事					・夏季休暇	
会議	・ケース閲覧(3)(24) ・幹部会議(4) ・パンプロジェクト委員会(6) ・給食委員会(10) ・運営委員会(11) ・職員会議(17) ・グループホーム運営委員会(20) ・第1回家族会(21)	・ケース閲覧(2)(22) ・幹部会議(2) ・給食委員会(8) ・ひわき会・施設内研修(11) ・運営委員会(16) ・職員会議(23) ・人権擁護委員会(23) ・グループホーム運営委員会(25) ・ハイツ会(25) ・法人監査	・パンプロジェクト委員会(1) ・ケース閲覧(5)(19) ・幹部会議(6) ・給食委員会(12) ・運営委員会(13) ・職員会議(20) ・グループホーム運営委員会(22) ・理事會 ・評議員会	・ケース閲覧(3)(24) ・幹部会議(4) ・給食委員会(10) ・運営委員会(11) ・グループホーム運営委員会(13) ・ハイツ会(13) ・職員会議(18) ・ひわき会・施設内研修(20)	・幹部会議(1) ・ケース閲覧(2)(21) ・パンプロジェクト委員会(3) ・給食委員会(7) ・運営委員会(8) ・職員会議(22) ・人権擁護委員会(22) ・グループホーム運営委員会(24)	・ケース閲覧(4)(20) ・幹部会議(5) ・給食委員会(11) ・運営委員会(12) ・ひわき会・施設内研修(14) ・職員会議(19) ・グループホーム運営委員会(21) ・ハイツ会(21)
その他	・施設視察球技大会(28)	・県障害者スポーツ大会(20)		・藤原川内市ふれあい障害者福祉大会		・Econ Boon Festival2018(施設文化祭)(17) ・施設職員祝賀ソフトボール大会 ・北海道ふれあいスポーツ大会(13)

項目\月	10	11	12	1	2	3
園内行事	・拓洋会秋まつり(仮称)(27)	・拓洋会スポーツレクリエーション大会(10)	・利用者忘年会 ・クリスマス会(16)・餅つき(27) ・大掃除/仕事納め(28) ・年末年始休暇(12/29~1/3)	・年末年始休暇(12/29~1/3) ・仕事始め(4)	・新葉ふれあいウォーキング大会(24)	・花見
会議	・ケース閲覧(2)(23) ・幹部会議(3) ・パンプロジェクト委員会(5) ・給食委員会(9) ・運営委員会(10) ・職員会議(17) ・グループホーム運営委員会(19) ・法人内部経理監査 ・理事會 ・評議員会	・ケース閲覧(6)(20) ・幹部会議(7) ・ひわき会・施設内研修(9) ・給食委員会(13) ・運営委員会(14) ・職員会議(21) ・グループホーム運営委員会(22) ・ハイツ会(22) ・人権擁護委員会(28)	・ケース閲覧(4)(20) ・幹部会議(9) ・運営委員会(7) ・パンプロジェクト委員会(7) ・給食委員会(11) ・職員会議(12) ・グループホーム運営委員会(14) ・第2回家族会(15)	・ケース閲覧(8)(22) ・幹部会議(9) ・給食委員会(15) ・運営委員会(16) ・ひわき会・施設内研修(18) ・家族並びに施設職員研修会(19~20) ・職員会議(23) ・グループホーム運営委員会(25) ・ハイツ会(25)	・ケース閲覧(5)(19) ・幹部会議(6) ・パンプロジェクト委員会(8) ・給食委員会(12) ・運営委員会(13) ・職員会議(20) ・グループホーム運営委員会(22) ・理事會 ・評議員会 ・人権擁護委員会(27)	・ケース閲覧(5)(19) ・幹部会議(6) ・ひわき会・施設内研修(8) ・給食委員会(12) ・運営委員会(13) ・職員会議(20) ・グループホーム運営委員会(22) ・ハイツ会(22) ・理事會 ・評議員会
その他		・新葉学園杯社会人バレーボール大会(18)		・新成人を祝う会(11)		

※利用者慰安旅行は、利用者の希望により実施いたします。(時期未定)

家族並びに施設職員研修会

看護職

有馬 福美

●開会の挨拶で水流水会長より、家族並びに施設職員研修会は「家族と職員がそれぞれの立場で話し合いをする事で、お互いを理解し合い、利用者の生活がより良いものになる様に」との主旨で始まったのだと説明される。職員として家族の話を聞くと言ったのは、一番価値がある事。職員は一人ひとりに心配りをして欲しい事、職員側からの意見として御家族へ、苦勞の大きい仕事なので是非職員に「芳い声掛けをして頂きたい。励みになり頑張ろうと思う気持ちになれるのではなかろうかと感じる」と野田あすかさんの母親(恭子様)の講演は、生まれてから現在に至るまでの経緯を話され、苦悩や葛藤が伝わってきた。二十二歳になるまで障害があることが分らず、精神科の保護室に入れられた事もあった。音楽が学びたくて短大、その後ウィーンへ留学。過呼吸を起こし受診した事で外国の医師から「発達障害」と診断され、初めて「障害がある」と判明。宮崎国際大学で田中教授(女性)と出会い、「貴女の音が良い音ね。貴女は貴女のままでいいのよ」と言われた言葉が救いとなり、前向きに暮らしていける様になった事を話された。

●「職員から」保護者会の場だけではなく、施設に様子を見にいらして欲しい。情報の共有に繋がり、支援している職員の見え方を見て頂きたい。利用者の平均年齢が六十一歳と高齢化しており、保護者も高齢の方が多いため、親も既に亡くなっておられ外泊する家が無い、面会も無いの利用者が増えつつある。成年後見人制度を利用する等施設側もその利用者に対して「何が出来るか」「何をしたいか」を考えて支援に取り組んで欲しい。施設長がケアホームの設立に向け計画を練っている段階、御家族として利用者が安心して最後まで暮らせる様子を目標にしたい。

●「家族として思うこと」と題して、コスモス家族会の宮脇隆一様より三女「あかねさん」について話をされた。アンデルセン症候群(言語染色体異常

一月二十日(土)十四日



●「職員から」保護者会の場だけではなく、施設に様子を見にいらして欲しい。情報の共有に繋がり、支援している職員の見え方を見て頂きたい。利用者の平均年齢が六十一歳と高齢化しており、保護者も高齢の方が多いため、親も既に亡くなっておられ外泊する家が無い、面会も無いの利用者が増えつつある。成年後見人制度を利用する等施設側もその利用者に対して「何が出来るか」「何をしたいか」を考えて支援に取り組んで欲しい。施設長がケアホームの設立に向け計画を練っている段階、御家族として利用者が安心して最後まで暮らせる様子を目標にしたい。

●感想

●研修会に参加し様々な意見を聞く中、「親亡き後」を心配されている家族が多い事、ケアホームの立ち上げを願っている声も聞かされた事が印象的だった。また御家族より、園長はどの様な精神教育をされているか?との質問があったが、入職時「我が子と想って支援して欲しい」と言われた事を話し、間違いない事を為しに注意する場面が多々ある事も伝えた。それ以外にも「口々に答えたり安心した。町元様が言われた通り、個性だから」とも自由ではないかと私は考える。人権擁護を唱えられる昨今支援する側も敏感になつてしまつたが、間違いない程度正すべきだと感じる。そこには愛情が必要だが、我が子と思えば難しはない。

●「家族として思うこと」

●「家族として思うこと」と題して、コスモス家族会の宮脇隆一様より三女「あかねさん」について話をされた。アンデルセン症候群(言語染色体異常

思い出アルバム

写真は楽しい活動の一部です



▲NHK 歳末たすけあい寄付金



▲ツェイクアウト訓練



▲ノウツクマルツェ in アミュプラザ鹿児島



▲排球がごしま県代表とし？
頑張りましたp(^v^)a



▲皆が素敵なお音声を届けてくれました月



▲私たちが福男、福女です



▲利用者さんも門松作りに協力してくれました



▲綺麗なお餅が出来上がりました(^-^)

ひわき会 新役員紹介



今年度はこのメンバーで頑張ります！

(会長) 長野 五月さん (副会長) 宮原 光一さん・陳内 唯さん
 (書記) 富吉 和明さん・敷根 美保さん
 (体育係) 吉村 元気さん・村岡 智恵さん
 (レクリエーション係) 福元 久和さん・宇都 美穂さん
 (環境美化) 正岡 和成さん・稲留 洋幸さん・柴田 博和さん
 上妻 利江子さん・久米 一沙さん・山崎 純代さん・立野 ほの香さん



塩向様、平山様、畠中様

「美容室ロワソブルー」
 畠中様、塩向様、平山様
 昨年の六月よりボランティアカットに入らせて頂いています、美容室ロワソブルーの畠中、塩向、平山です。夏祭りもお誘い頂き、楽しい時間を共有させて頂きました。又、皆様方に温かく受け入れて頂き、感謝申し上げます。新葉学園のこれからの地域密着の発展を、心よりお祈り申し上げます。皆様方とのご縁に感謝！



きれいになあれ！

新職員紹介

世話人
大峯 幸子

はじめまして!!
 四月から、世話人として皆さんと一緒に働くことになりました大峯幸子です。一日一歩ずつ、いや二歩ぐらいまでは行ける様にがんばりますので、よろしくお祈りします。



女性利用者
 初めまして。四月から新葉学園に入りました。わからない事がたくさんあるけど、一日でも早く仕事内容を覚えていくが皆さんと楽しく仕事やいろいろ話をしたいです。よろしくお祈りします。



利用者
前田 信玄さん

はじめまして。
 前田信玄です。よろしくおねがいします。



利用者
市来 守羅さん

はじめまして。四月から新葉学園に入った市来守羅です。がんばります。



利用者
田島 知歩さん

初めまして。四月から新葉学園に入った田島知歩です。みなさんと一緒に頑張っていきます。よろしくお祈りします。

新利用者紹介

<退園者>

利用者 平原 千枝子さん (1月)

朝晩はまだ寒いです
 が、日中は暖かく過ご
 しやすいようになってきま
 した。春は別れもありま
 すが、新しい出会いの
 季節でもあります。一
 期一会を大事にしたい
 ものです。
 さて、今回の「たく
 ようだより春号」はい
 かかだったでしょう
 か?今年度も、新葉学
 園の楽しい話題をたく
 さん掲載していきたい
 と思います。
 また次回の「たくよ
 うだより夏号」も、ど
 うぞご期待ください!
 (三輪)

編集後記

【平成三十年度
 広報委員会】

利用者
 福山 雄亮さん
 陳内 唯さん
 職員
 乙須 恒平
 小川 淳
 池田 俊彦
 山口 友洋
 角 直子
 田原 加奈
 三輪 優子



笑いの絶えない講話でした。

第五回.....
 平成三十年一月十二日(金)
 テーマ『隣の芝は青い』
 ・講師
 さかうえ整骨院ぼくの手
 院長 坂上 光様
 第六回.....
 平成三十年三月十六日(金)
 テーマ
 『福祉に対する私の想い』
 ・講師
 薩摩川内市社会福祉協議会
 権利擁護センター
 主事 瀬戸口 高代 様

平成二十九年施設内研修